

## 1. 3. 12 世中メディア研究会

1. 対象学年 2・3年生

2. 担当教諭 山城 仁

### 3. テーマのねらい

本テーマ研究では、英米文学作品とその翻訳本を比較し、読み手として受ける印象の違いはどこから発生しているのかを分析することを主たる目的としている。

また、作品を読み進める中で読解するのが難しい箇所はどのように読み進めれば理解が深まるのか、自分たちが理解した作品の面白さはどのように伝えれば相手にわかりやすくわかってもらえるのかなどを検討しながら、メディアを通して発信することとした。

### 4. 学習活動の計画

月 日	主な学習内容
5月2日	ハックルベリー・フィンの冒険の読解・読解作品の検討1
6月1日	ハックルベリー・フィンの冒険の読解・読解作品の検討2
6月8日	ハックルベリー・フィンの冒険の読解・読解作品の検討3
6月22日	作品選定・読解1
7月6日	作品選定・読解2
	(予備日)
9月7日	読解3
9月21日	ハリーポッターを深く理解するための講話
9月28日	テーマ研内方向検討会
10月26日	発表内容作成1
11月7日	発表内容作成2
11月8日	発表内容作成3
11月9日	テーマ研究発表会
11月30日	テーマ研究まとめ・自己評価

### 5. 学習の概要

本テーマ研究は一つの文章や本について生徒がグループでいっしょになって語り合う機会を設定するというリタラチャー・サークルの概念をもとに行う。

第一段階として、ハックルベリーフィンの冒険について全体で読み進め、作品背景や作者についての理解から、読解に際し難解な箇所の読み進め方のモデルを共有した。

次に第二段階として、作品を選定し、それらの原書、翻訳本を読み進めた。読解の際は、グループで役割分担を決め、読み取った内容を順番に発表する機会を設けた。

生徒が選定し、読み進めた作品は以下のものである。

- ①作品名：鏡の国のアリス 著者：ルイス・キャロル 訳者：河合祥一郎
- ②作品名：ふしぎの国のアリス 著者：ルイス・キャロル 訳者：芹生一
- ③作品名：13の理由 著者：ジェイ・アッシャー 訳者 武富博子
- ④作品名：穴 著者：ルイス・サッカー 訳者：幸田敦子
- ⑤作品名：新訳 星の王子さま 著者：サン＝テグジュペリ 訳者：倉橋由美子

最終的には、グループでテーマを決め、発表の視点を定めた。その視点として挙がっていた点としては、訳すのが難しい英文の翻訳の分析（なぜこのような翻訳になっているのか）、内容理解をする際の翻訳の分析（なぜ翻訳者はこのように訳をしているのか）に大きく区別することができた。

以下に生徒が取り組んだ内容の一例を示す。

3. 英語原書と日本語訳本において注目したところ

"If only, if only," the woodpecker sighs,  
 "The bark on the tree was just a little bit softer."  
 While the wolf waits below, hungry and lonely,  
 He cries to the moo—oo—oon,  
 "If only, if only."

「ああ、もしも——」 キツツキはため息をついた。  
 「木の皮がほんのちよひりやわらかければ」  
 その下で、ひとりぼっちの腹ペニオオカミ、  
 じれて、吠えたよ、おつー～きさまに。  
 「ああ、もしも——」

「空のようにやわらかければ……」  
 日本語にはない表現、辞書の日以外で見ると何が違うのか……

"If only, if only," the woodpecker sighs,  
 The bark on the trees was as soft as the skies."  
 While the wolf waits below, hungry and lonely,  
 Crying to the moo—oo—oon,  
 "If only, if only."

「ああ、もしも——」 キツツキはため息をついた。  
 「木の皮がお空のようにやわらかければ」  
 その下で、ひとりぼっちの腹ペニオオカミ、  
 じれて、吠えたよ、おつー～きさまに。  
 「ああ、もしも——」

役立たず 汚い 腐った 猪 盗み いひいおじいさん  
 no-good-dirty-rotten-pig-stealing-great-great-grandfather  
 リンゴとあんぽんたんのへっぽこリンの豚泥棒のひいひいじいさん  
 意味と解らない人  
 私たちは辞書を通して英語の世界を見ている。  
 アメリカ人からするとまた別の世界なのかな…?

発表方法の予定

Show me app 使用予定

上記は「穴」を読み進めた生徒の作品である。このグループでは、原書と翻訳本を比較・分析し、訳がどのように行われているのか、直接読み取れない箇所がどのように解釈され、翻訳されるにいたっているのかなどについて詳細に調査を進めた。それに加えて、作品の面白さがどこからくるのかを読んでいない人たちに読みたくなるようなプレゼンテーション発表を行った。

## 6. 今後の課題

生徒が読解を進め、その作品の面白さをどのように説明するのか、という点については大きな課題がある。事前の知識のない者に自分が感じた面白さを説明するためには何を説明しなければならないのか、を掴ませる指導をするには時間的な制約があった。それらをより整理した形で生徒に提示する指導のあり方をさらに検討したい。